

eValue NS スケジューラ編

スケジュール連携マニュアル

[Sales Force Assistant シリーズ]



目次

1.はじめに	2
1-1.連携対象製品.....	2
1-2.連携のタイミング.....	2
2.連携機能を使用するためには.....	3
2-1.設定の種類.....	4
2-1-1.スケジュール連携：個人設定 手順.....	5
2-1-2.スケジュール連携：まとめて設定 手順.....	6
2-2.システム設定：スケジュール連携.....	7
2-2-1.スケジュール連携を設定する.....	7
2-3.システム設定：社員.....	9
2-3-1.連携情報を登録する.....	9
2-4.オプション設定：スケジュール連携設定.....	11
2-4-1.個人ごとに設定する（Sales Force Assistant シリーズ）.....	11
2-5.スケジュール連携における注意事項.....	14
3.スケジュール連携について	15
3-1. Sales Force Assistant シリーズとの連携.....	15
3-2-1.連携の特徴.....	16
4.トラブルシューティング.....	17
スケジュール連携設定を行ったが連携されない。.....	17
連携先サービスを変更する、または連携をやめる場合の注意点。.....	18



・本マニュアルについて

Sales Force Assistant 顧客深耕 AO の「コンタクト情報」を「商談情報」と記載しております。

1.はじめに

スケジュール連携機能は、Sales Force Assistant シリーズのスケジュールに登録すると、eValue NS スケジューラに連携して自動登録することができます。

1-1.連携対象製品

eValue NS スケジューラと連携が可能な対象の製品は以下の通りです。

・ Sales Force Assistant シリーズ

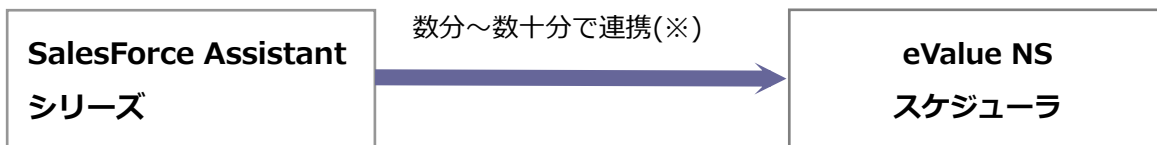


補足

・ eValue NS のバージョンについて
Ver 5.85 以上である必要があります。

1-2.連携のタイミング

スケジュールが連携されるタイミングは以下の通りです。リアルタイムには連携しませんのでご注意ください。



※データ通信量、連携先カレンダーの負荷状況により変動します。



補足

- ・ 複数の連携先システムに対してスケジュール連携を行うことはできません。連携先を1つ選択する必要があります。
- ・ 他連携サービスとの連携は、各連携サービス向けのマニュアルを参照してください。

2.連携機能を使用するためには

スケジュール連携を使用するためには、事前に以下の項目を決定してください。

1. Sales Force Assistant シリーズのスケジュールを eValue NS スケジューラへ連携するか

A

⇒詳細については、「[2-2.システム設定：スケジュール連携](#)」を参照してください。

※Sales Force Assistant シリーズのスケジュールを eValue NS スケジューラに連携することが可能です。
eValue NS スケジューラのスケジュールを Sales Force Assistant シリーズに連携することはできません。

2. スケジュール連携について、個人ごとの変更を許可するか

B

許可する場合

スケジュール連携を**個人で設定**する

・・・[「2-1-1.スケジュール連携：個人設定 手順」](#)を参照してください。

許可しない場合

スケジュール連携を**まとめて設定**する

・・・[「2-1-2.スケジュール連携：まとめて設定 手順」](#)を参照してください。

※許可しない場合、スケジュール連携設定はシステム管理者がまとめて設定/変更しなければなりません。

※A～Bは、システム設定「**スケジュール連携**」で設定を行います。


⇒[「2-2.システム設定：スケジュール連携」](#)を参照し、こちらより設定を始めてください。

2-1.設定の種類

連携機能を使用するためには、下記の設定が必要です。

①の設定によって、設定しなければならない箇所が異なりますのでご注意ください。(詳細は、前頁を参照してください。)

※運用イメージは、次頁を参考にしてください。

<p>①システム設定 「スケジュール連携」</p>	<p>スケジュール連携の全社的な利用について設定を行います。</p> <p>⇒詳細は、「2-2.システム設定：スケジュール連携」を参照してください。</p>
<p>②システム設定 「社員」</p>	<p>システム管理者が全社員のスケジュール連携の連携有無・連携設定を行います。</p> <p>⇒詳細は、「2-3.システム設定：社員」を参照してください。</p>
<p>③オプション設定 「スケジュール連携設定」</p>	<p>各社員がスケジュール連携設定を行います。</p> <p>※社員ごとにスケジュール連携の設定変更を許可されている場合</p> <p>⇒詳細は、「2-4.オプション設定：スケジュール連携設定」を参照してください。</p>
 注意	<p>・スケジュール連携における注意事項について</p> <p>設定の際は、「2-5.スケジュール連携における注意事項」を参照しながら設定を行ってください。</p>

<運用イメージ>

eValue NS スケジューラと NI 製品スケジュールの連携を個人（社員）で設定していただくイメージです。

スケジュール連携を**個人で設定**するためには、以下の設定ステップで実施してください。

Step 1

システム設定
「スケジュール連携」

システム管理者がスケジュール連携設定を行います。
システム設定-スケジュール連携-スケジュール連携設定の「共通認証情報」設定を行います。

⇒詳細は、「[2-2.システム設定：スケジュール連携](#)」を参照してください。



Step2

オプション設定
「スケジュール連携設定」

各社員がスケジュール連携設定を行います。
※社員ごとにスケジュール連携の設定変更を許可されている場合

⇒詳細は、「[2-4.オプション設定：スケジュール連携設定](#)」を参照してください。

<運用イメージ>

eValue NS スケジューラと NI 製品スケジュールの連携をシステム管理者で管理していただくイメージです。

スケジュール連携を**まとめて設定**するためには、以下の設定ステップで実施してください。

Step 1

システム設定
「スケジュール連携」

システム管理者がスケジュール連携設定を行います。
システム設定-スケジュール連携-基本設定の「共通認証情報」設定を行います。

⇒詳細は、「[2-2.システム設定：スケジュール連携](#)」を参照してください。



Step2

システム設定：社員
「スケジュール連携」

システム管理者が全社員のスケジュール連携の連携有無・連携設定を行います。

⇒詳細は、「[2-3.システム設定：社員](#)」を参照してください。

2-2.システム設定：スケジュール連携

スケジュール連携の全社的な利用について設定を行います。

2-2-1.スケジュール連携を設定する

1. システム設定の **運用管理** より「**スケジュール連携**」の「**基本設定**」を選択します。
⇒「スケジュール連携／基本設定」画面が表示されます。
2. 必要事項を設定し、最後に **保存** ボタンをクリックします。

保存	
スケジュール連携 * :	<input checked="" type="radio"/> 連携する <input type="radio"/> 連携しない
連携サービス * :	eValue NS ▼
個人ごとの設定変更 許可 :	<input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 許可しない
連携サービスへの登 録 :	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない
共通認証情報	
WEBサービス接続U RL :	<input type="text" value="http://xxx.xxx.xxx.xxx/evportal/ws/SQLScheduleWebService.asmx"/> <small>WEBサービスを実行する際の接続先を設定します。 例 : http://xxx.xxx.xxx.xxx/evportal/ws/SQLScheduleWebService.asmx</small>
NameSpace :	<input type="text" value="http://kk-osk.co.jp/easyportal/scheduler/1.0/"/> <small>WEBサービスで利用するNameSpaceを設定します。 デフォルト : http://kk-osk.co.jp/easyportal/scheduler/1.0/</small>
SoapAction :	<input type="text" value="http://kk-osk.co.jp/easyportal/scheduler/1.0/Execute"/> <small>WEBサービスで利用するSoapActionを設定します。 デフォルト : http://kk-osk.co.jp/easyportal/scheduler/1.0/Execute</small>
保存	

	項目名称	説明
	スケジュール連携	eValue NS スケジューラとのスケジュール連携機能を利用するかしないか選択します。
	連携サービス	連携するサービスを選択します。
B	個人ごとの連携設定の変更許可	<p>社員ごとに連携設定を行うことを許可するかしないかを選択します。</p> <p>「許可する」場合 「オプション設定」 - 「スケジュール」メニューに「スケジュール連携設定」が追加されます。 ⇒詳細は、「2-4.オプション設定：スケジュール連携設定」を参照してください。</p> <p>「許可しない」場合 システム設定画面から、利用社員分の連携ユーザーID等を指定します。 ⇒詳細は、「2-3.システム設定：社員」を参照してください。</p>
A	連携サービスへの登録	Sales Force Assistant シリーズのスケジュールを、eValue NS スケジューラに登録するかしないか選択します。
	共通認証情報	<p>eValue NS スケジュール連携で共通利用する、認証情報を指定します。</p> <p>WEB サービス接続 URL eValue NS の WEB サービス接続用の URL です。 デフォルト値は「http://(eValue NS の IP アドレス)/evportal/ws/SQLScheduleWebService.asmx」です。</p> <p>NameSpace WEB サービスで利用する NameSpace を指定します。 インストール時にデフォルト値が設定されています。WEB サービスの NameSpace に変更があった際に、修正してください。 デフォルト値は「http://kk-osk.co.jp/easyportal/scheduler/1.0/」です。</p> <p>SoapAction WEB サービスで利用する SoapAction を指定します。 インストール時にデフォルト値が設定されています。WEB サービスの SoapAction に変更があった際に、修正してください。 デフォルト値は「http://kk-osk.co.jp/easyportal/scheduler/1.0/Execute」です。</p>

2-3.システム設定：社員

システム設定メニューから、スケジュール連携の連携有無・連携設定を社員ごとに行います。

2-3-1.連携情報を登録する



補足

- ・システム管理者が一括設定する場合、各社員の連携の有無、ユーザーID 設定、連携ユーザーID は、この画面より設定を行います。



注意

・連携開始時の連携情報について

製品と eValue NS スケジューラを連携させた場合、**連携がONになった時点からの**情報が、eValue NS へ送信されます。

※Sales Force Assistant シリーズの連携開始前の情報が、eValue NS 側へ自動で送信されることはありません。**連携設定以降に登録・更新を行った情報**が、eValue NS 側へ送信されます。

・設定の際、以下の注意事項も併せて確認してください。

⇒詳細は、「[2-5.スケジュール連携における注意事項](#)」を参照してください。

1. システム設定の **基本設定** より「社員」の「[社員一覧](#)」を選択します。
⇒「社員/社員一覧」画面が表示されます。
2. スケジュール連携する社員を選択します。
⇒編集画面が表示されます。
3. 「スケジュール連携」項目にて、必要事項を入力し最後に **保存** ボタンをクリックします。
4. 次に、正しく連携されているかどうかを確認します。
基本設定 より「スケジュール連携」の「[ログ](#)」を選択します。
⇒「スケジュール連携/ログ」画面が表示されます。
5. 一覧画面にエラーログが表示されていないかを確認します。
エラーが表示されている場合は、その内容にしたがって設定をご確認ください。
※エラー内容の具体例については、「[4.トラブルシューティング](#)」を参照してください。

スケジュール連携	
スケジュール連携：	<input checked="" type="radio"/> 連携する <input type="radio"/> 連携しない <input type="radio"/> 使用禁止 [eValue NS] スケジュール連携可能製品をご使用の場合のみ、有効な設定項目となります。 (Sales Force Assistant シリーズ)
ユーザーID設定：	<input checked="" type="radio"/> 個別にeValue NSユーザーID・パスワードを設定する <input type="radio"/> NI製品の社員ログインID・パスワードを利用する
連携ユーザーID：	<input type="text" value="xxxxxx"/> eValue NSのユーザーIDを指定します。
連携ユーザーパスワード：	<input type="password" value="....."/> 入力ミス防止のため、もう一度入力してください。 <input type="password" value="....."/> eValue NSのユーザーパスワードを指定します。

項目名称	説明
スケジュール連携	<p>スケジュール連携機能を利用する場合、以下の項目を設定してください。 ※この設定を有効にするためには、「運用管理」-「スケジュール連携」-「基本設定」のスケジュール連携項目の「連携する」を選択してください。</p>
スケジュール連携	<p>個人ごとの連携状態を指定します。 ※「使用禁止」について 個人ごとの連携設定の変更が許可されている場合、特定の社員のみ使用を禁止する設定です。この設定により、個人ごとの設定許可も禁止されるため使用不可となります。</p>
ユーザーID設定	<p>個別に eValue NS ユーザーID・パスワードを設定するか、NI 製品の社員ログイン ID・パスワードを利用するかを選択します。 ※「NI 製品の社員ログイン ID・パスワードを利用する」を選択した場合、連携ユーザーID・パスワードの項目が非表示になり、「社員ログイン ID」「パスワード」を eValue NS のユーザーID、パスワードとしてスケジュール連携します。</p>
連携ユーザーID	<p>eValue NS ユーザーID を指定します。 ※NI 製品の社員ログイン ID・パスワードを利用する場合は、入力不要です。</p>
連携ユーザーパスワード	<p>eValue NS ユーザーパスワードを指定します。 ※NI 製品の社員ログイン ID・パスワードを利用する場合は、入力不要です。</p>

2-4.オプション設定：スケジュール連携設定

各社員が個別にスケジュール連携について設定を行います。



補足

- ・システム設定「スケジュール連携」の「個人ごとの設定変更許可」を「許可しない」場合、この画面は非表示となります。



注意

・連携開始時の連携情報について

製品と eValue NS スケジューラを連携させた場合、**連携がONになった時点からの**情報が、eValue NS へ送信されます。

※Sales Force Assistant シリーズの連携開始前の情報が、eValue NS 側へ自動で送信されることはありません。**連携設定以降に登録・更新を行った情報**が、eValue NS 側へ送信されます。

・設定の際、以下の注意事項も併せて確認してください。

⇒詳細は、「[2-5.スケジュール連携における注意事項](#)」を参照してください。

2-4-1.個人ごとに設定する（Sales Force Assistant シリーズ）

1. 左メニューより「[オプション設定](#)」を選択します。
⇒オプション設定画面が表示されます。
2. オプション設定メニューから「スケジュール連携設定」を選択します。
3. 「スケジュール連携設定」の「連携する」を選択します。
⇒設定項目が下側へ追加されます。

Sales Force Assistant 顧客深耕R > スケジュール/スケジュール連携設定

保存

スケジュール連携設定：
 連携する 連携しない

スケジュール連携しない場合は、連携用の設定内容は保存されません。

4. 「ユーザーID 設定」「連携ユーザーID」「連携ユーザーパスワード」その他必要事項を入力し、最後に

保存


ボタンをクリックします。

スケジュール連携設定：	<input checked="" type="radio"/> 連携する <input type="radio"/> 連携しない スケジュール連携しない場合は、連携用の設定内容は保存されません。
ユーザーID設定：	<input checked="" type="radio"/> 個別にeValue NSユーザーID・パスワードを設定する <input type="radio"/> NI製品の社員ログインID・パスワードを利用する
連携ユーザーID*：	<input type="text" value="XXXXXXXX"/> eValue NSのユーザーIDを指定します。
連携ユーザーパスワード*：	<input type="password" value="●●●●●●●●"/> 入力ミス防止のため、もう一度入力してください。 <input type="password" value="●●●●●●●●"/> eValue NSのユーザーパスワードを指定します。

項目名称	説明
スケジュール連携設定	eValue NS スケジューラとスケジュール連携するかしないか選択します。
ユーザーID 設定	個別に eValue NS ユーザーID・パスワードを設定するか、NI 製品の社員ログイン ID・パスワードを利用するかを選択します。 ※「NI 製品の社員ログイン ID・パスワードを利用する」を選択した場合、連携ユーザーID・パスワードの項目が非表示になり、「社員ログイン ID」「パスワード」を eValue NS のユーザーID、パスワードとしてスケジュール連携します。
連携ユーザーID	eValue NS ユーザーID を指定します。 ※NI 製品の社員ログイン ID・パスワードを利用する場合は、入力不要です。
連携ユーザーパスワード	eValue NS ユーザーパスワードを指定します。 ※NI 製品の社員ログイン ID・パスワードを利用する場合は、入力不要です。

商談情報連携設定	<input type="checkbox"/> 定期訪問 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 商品 P R <input type="checkbox"/> 新規開拓 <input type="checkbox"/> 案件商談 <input type="checkbox"/> 納品 <input type="checkbox"/> 集金 <input type="checkbox"/> クレーム対応
スケジュール連携の対象外にする商談目的をチェックしてください。	
商談情報連携設定 (訪問件数としてカウントしないもの)	<input type="checkbox"/> TEL・FAX・MAIL <input type="checkbox"/> *未選択*
スケジュール連携の対象外にする商談目的（訪問件数としてカウントしないもの）をチェックしてください。	
業務情報連携設定	<input type="checkbox"/> 資料作成 <input type="checkbox"/> 伝票発行 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> *マスタ設定値以外* <input type="checkbox"/> *未選択*
スケジュール連携の対象外にする業務名をチェックしてください。	

項目名称	説明
商談情報連携設定	連携 対象外 にする商談情報「商談目的」（訪問件数カウント分）を選択します。
商談情報連携設定 (訪問件数としてカウントしないもの)	連携 対象外 とする商談情報「商談目的」（訪問件数カウント外）を選択します。
業務情報連携設定	連携 対象外 とする業務情報「業務名」を選択します。

 補足	<ul style="list-style-type: none"> ・「実績」の商談・業務はスケジュール連携の対象外です。 ・なお、「予定」が「実績」となったスケジュールも連携対象外となります。
--	--

2-5.スケジュール連携における注意事項

eValue NS スケジューラと連携する際の注意事項は、以下の通りです。

	項目	説明
1	スケジュールの公開設定	Sales Force Assistant シリーズから連携されたスケジュールは、常に「内容を公開する」状態となります。 公開範囲は、eValue NS スケジューラ側のアクセス権設定に準じます。
2	スケジュール連携設定で「連携しない」から「連携する」に変更して保存した場合	スケジュール連携設定で「連携しない」から「連携する」に変更して保存した場合、予定表の前月月初までの期間を同期します。 そのため、連携したことのある予定の場合、スケジュールが重複する可能性があります。 ※スケジュール連携設定の変更は社員情報と個人オプション設定から可能です。 ※前月月初までの期間を同期する処理は、オプション設定でのみ実行されます。

3.スケジュール連携について

3-1. Sales Force Assistant シリーズとの連携

eValue NS スケジューラと Sales Force Assistant シリーズを連携することができます。

Sales Force Assistant シリーズのスケジュールに登録すると、eValue NS スケジューラに自動連携されます。

[Sales Force Assistant シリーズ:スケジュール画面]

先月	今月	翌月	週スケジュール	商談情報CSVデータ読み込み	マイグループ設定	
31 日報作成	9/1 日報作成	2 日報作成	3 日報作成	4 日報作成	5 日報作成	6 日報作成
7 日報作成	8 日報作成	9 日報作成	10 日報作成	11 14:00 定期訪問 赤木電機	12 予定作成	13 予定作成
14 12:00 会議	15 12:00 会議	16 12:00 資料作成	17 12:00 その他 12:00 赤木電機	18 予定作成	19 予定作成	20 予定作成
21 予定作成 敬老の日	22 予定作成 国民の休日	23 予定作成 秋分の日	24 12:00 資料作成	25 12:00 会議 12:00 赤木電機	26 予定作成	27 予定作成

eValue NS スケジューラへ

[eValue NS スケジューラ画面]

日	月	火	水	木	金	土
8/30	31	9/1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11 14:00~14:00 赤木電機/定期訪問	12
13	14 12:00~12:00 会議	15 12:00~12:00 会議	16 12:00~12:00 資料作成	17 12:00~12:00 その他 12:00~12:00 赤木電機	18	19
20	21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24 12:00~12:00 資料作成	25 12:00~12:00 会議 12:00~12:00 赤木電機	26
27	28	29	30	10/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10

3-2-1.連携の特徴

連携の特徴は、以下の通りです。

[Sales Force Assistant シリーズ ⇒ eValue NS スケジューラ]

「場所」項目について

eValue NS スケジューラの「場所」項目は、商談予定の顧客プロフィールに登録された「住所」を自動的にセットします。

スケジュールデータ	
内容	赤木電機/定期訪問
場所	東京都千代田区
日時	2015/09/11 14:00 ~ 2015/09/11 14:00
登録メンバー	メンバー選択 ユーザー <input type="checkbox"/> 参加確認をする 江沼文吾
重要度	<input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
アイコン	選択... クリア
公開方法	予定あり
内容を公開 ダブルブッキング を許可	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない
主催者からの 連絡	
ノート (朱仁田さんのノ ートです。)	定期訪問

顧客プロフィール	
顧客名*	赤木電機
顧客名かな*	あかぎでんき
表示用顧客名	赤木電機
上位会社	
顧客ランク	新規
月基準訪問回数	4回
訪問周期	7日
最新訪問日	2015年8月26日(水) 11:00
次回予定日	2015年8月26日(水) 11:30
当社担当者*	営業部 相川 弘
サブ担当者	
ルート	新規登録
面談者	
顧客地域	首都圏
郵便番号	100-0000
住所	東京都千代田区

商談情報・業務情報の更新

eValue NS スケジューラ側で更新した商談情報・業務情報の内容は、Sales Force Assistant シリーズ側には反映しません。

※Sales Force Assistant シリーズ側で更新された内容は、eValue NS スケジューラ側へ更新します。

対象となる商談情報・業務情報

対象となる情報は、**予定情報**のみです。(※実績情報は対象外)

なお、予定から実績となった場合も対象外となる為、eValue NS スケジューラは予定のまま残ります。

4.トラブルシューティング

スケジュール連携設定を行ったが連携されない。

スケジュール連携ログより、エラーログが記録されていないかご確認ください。エラーが表示されている場合、その内容にしたがって設定をご確認ください。エラーの内容が不明で連携できない場合、NI コンサルティング サポートデスクまでお問い合わせください。

■ 設定箇所

システム設定の **運用管理** より「**スケジュール連携**」の「**ログ**」

eValue NS スケジューラ連携時のエラーログ具体例	説明
Web サービス実行エラー:HTTP Error: Couldn't open socket connection to server http:xxx.xxx.xxx.xxx/evportal/ws/SQLScheduleWebService.asmx prior to connect(). This is often a problem looking up the host name.	WEB サービス接続 URL に、存在しない URL が設定されています。 運用管理 > スケジュール連携 > 基本設定より再設定してください。
Web サービス実行エラー:Response not of type text/xml	WEB サービス接続 URL に、存在するが誤った URL が設定されています。 運用管理 > スケジュール連携 > 基本設定より再設定してください。
eValue NS スケジューラ Web サービスイベント更新処理でエラーが発生しました。エラー番号:-102 エラーコード:3 エラーメッセージ:値を Null にすることはできません。パラメータ名: s (OSK.EV.ScheduleService) エラー箇所:ScheduleWebServiceBase.Execute()	NameSpace に誤った値が設定されています。 運用管理 > スケジュール連携 > 基本設定より再設定してください。
Web サービス実行エラー:soap:Client: System.Web.Services.Protocols.SoapException: サーバーは HTTP ヘッダー SOAPAction の値を認識しませんでした:…	SoapAction に誤った値が設定されています。 運用管理 > スケジュール連携 > 基本設定より再設定してください。
Web サービス実行エラー:HTTP Error: HTTP authentication failed	ユーザーID またはパスワードが誤っている可能性があります。社員情報、または、個人オプション設定からスケジュール連携設定を再設定してください。
eValue NS スケジューラ Web サービスイベント(登録 or 更新 or 削除)処理で致命的なエラーが発生しました。エラー番号:XXX エラーコード:XXX エラーメッセージ:XXX エラー箇所:XXX	eValue NS で致命的なエラーが発生しています。 eValue NS の管理者にご連絡ください。
eValue NS スケジューラ Web サービスイベント(登録 or 更新 or 削除)処理でエラーが発生しました。エラー番号:XXX エラーコード:XXX エラーメッセージ:XXX エラー箇所:XXX	eValue NS に連携済みのスケジュールの設定に問題があります。eValue NS にログインし、該当スケジュールの設定をご確認ください。 例:ダブルブッキング禁止のスケジュールと重複している 施設予約が重複している 等

連携先サービスを変更する、または連携をやめる場合の注意点。

- ・未送信の情報が残っている場合、連携エラーとなります。
全社員のスケジュール連携を、各社員のオプション設定、
または、システム設定＞基本設定＞社員情報から「連携しない」に変更してください。
(社員情報は CSV での一括更新でも可能です。)
- ・変更後、1 時間程度時間を開けて、NI Collabo 360 のスケジュール画面（月表示等）、
または S F A トップページを開いてください。
- ・上記作業後にシステム設定＞運用管理＞スケジュール連携／基本設定にて、
サービスを変更する、または、スケジュール連携を「連携しない」に変更してください。
- ・既に連携してあるスケジュールは削除されません、不要な場合は手動で削除してください。

○ 商標

本説明書に登場する会社名、製品名は各社の登録商標、商標です。

○ 免責

本説明書に掲載されている手順による操作の結果、ハード機器に万一障害などが発生しても、弊社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

○ 発行

2023年10月25日 第4版

株式会社 **NI**コンサルティング

サポートデスク

E-mail : support@ni-consul.co.jp Fax : 082-511-2226

営業時間 : 月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00 (当社休業日、土・日・祝日を除く)